

1. 技術体系の特徴

経営類型	家族労働力	品目・栽培型及び規模	経営・技術の特徴
ブロイラー専業80000羽	人 2	ブロイラー 80,000 羽 年間出荷羽数 440,000 羽	1. ウインドレス鶏舎、平飼い 2. 同一鶏舎一貫飼育方式 3. 自動給餌機利用 4. LED色調調整 5. 雇用導入あり(2人)
経営目標	1 農業総収入 2 農業経営費 3 農業所得	263,657 千円 252,323 千円 11,335 千円	4 1日当たり農業所得 23,731 円 5 1人当たり年間労働時間 1,911 時間
飼育方式と畜舎施設		技術指標	
・飼育方式 1/2補助事業を活用(トラックは資金対応) 同一鶏舎一貫飼育方式 (オールインオールアウト) ・鶏舎及び付帯施設 鶏舎(平飼) 自動給餌機 管理舎 堆肥舎(堆積、開放式)		1、出荷日齢 43 日、空舎期間 23 日 2、1回当たり餌付羽数 82,400 羽 添え雛 3% 3、出荷率 100%(103% * 育成率97%) 4、1回3.3㎡当たり餌付け羽数 夏50羽、冬55羽 5、鶏舎年間回転率 5.5 回 6、1羽当たり平均出荷体重 3.1 kg 7、一日平均増体重 71 g 8、飼料要求率 1.67 9、フodテクションスコア(PS) 432 ※出荷率(%)×1羽出荷体重(kg)÷出荷日齢÷飼料要求率×100	

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所 割	有 合	取得価格	法定 耐用 年数	年 間 償 却 額
						千円	年	千円
建物・施設	鶏舎(ウインドレス)	6	木造 880㎡×6棟 5280 ㎡	1		158,400	17	9,318
	機械器具庫	1	鉄骨ガルバリウム 47㎡	1		1,387	31	45
	堆肥舎	1	鉄骨ガルバリウム 275 ㎡	1		8,250	17	485
	計					168,037		9,848
農機具	自動給餌機	12	2台/棟	1		4,574	7	653
	飼料搬送機	6	タンク2基連結型 1基/棟	1		1,297	7	185
	自動給水器	6	4列/棟 1基/棟	1		3,779	7	540
	餌付け皿	480	丸型 6個/1000羽	1		713	7	102
	飲水器	480	6.5リットル 6個/1000羽	1		686	7	98
	ガスブルーダー	80	1個/1,000羽用	1		2,816	7	402
	動力噴霧器	1		1		250	7	36
	細霧装置	6		1		1,980	7	283
	換気扇	80	1200シャッター付き	1		4,488	7	641
	空調自立盤	6	制御盤	1		11,880	7	1,697
	その他付帯	1		1		10,000	7	1,429
	発電機	1	100kw	1		2,500	7	357
	ショベルローダー	1	0.5㎡	1		4,417	7	631
	トラック	1	2tダンプ	1		2,855	5	571
計					52,233		7,625	
総計					220,270		17,473	

1/2補助事業を活用(トラックは資金対応)

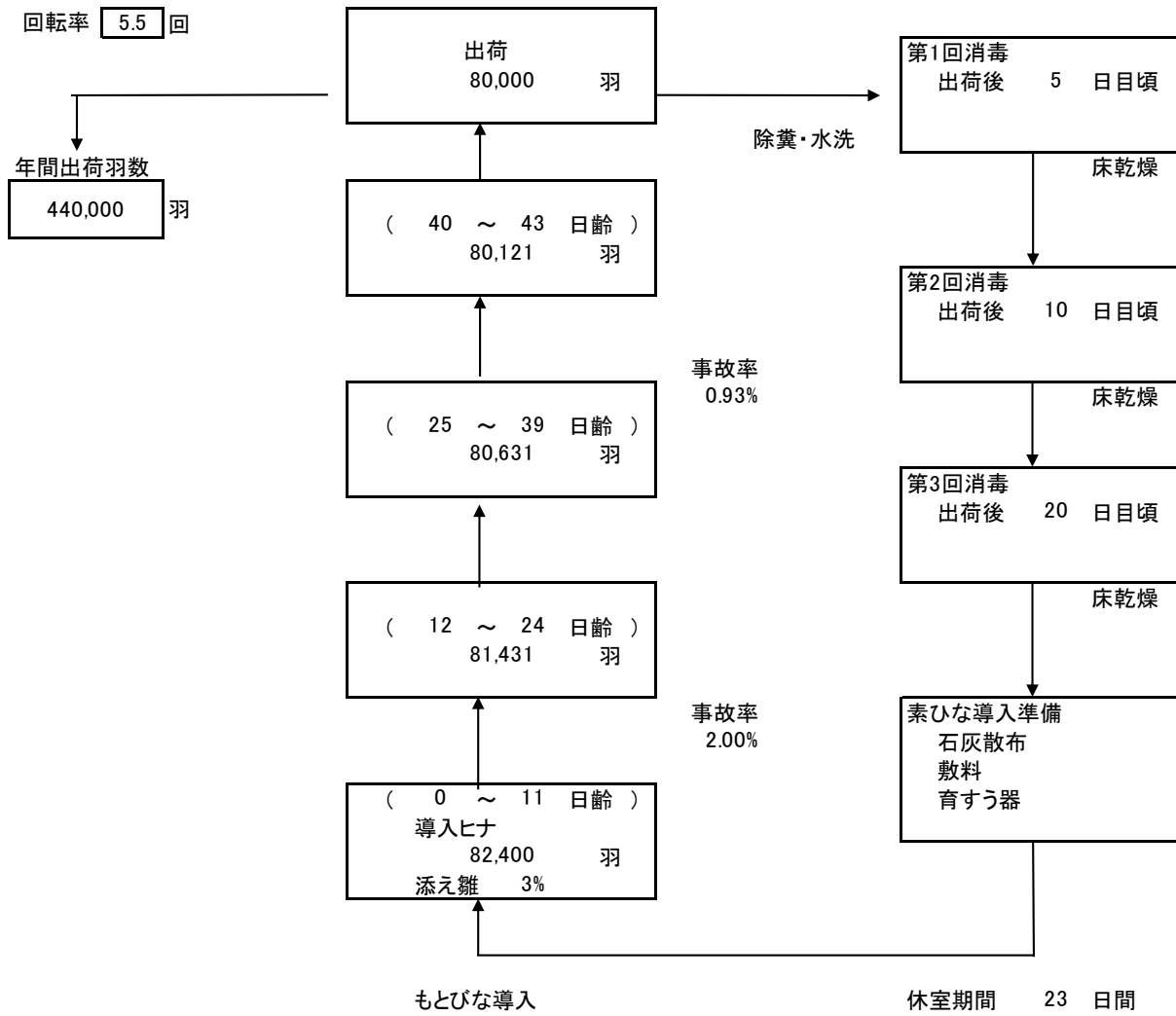
3. 畜舎及び付帯施設算出基礎

区分	構造・形式	規模	算出基礎
鶏舎	軽量鉄骨ガルバリウム	880㎡×6棟 5,280㎡	9m×98m×6棟 50羽／3.3㎡
機械器具庫	鉄骨ガルバリウム	47㎡	5.4m×8.7m
堆肥舎	鉄骨ガルバリウム	275㎡	発酵施設245㎡(堆積高1.5m) ストックヤード30㎡(堆積高1.5m)
飼料タンク	10t	6基	飼料会社より無償提供
自動給餌機	ローレベル	12台	2台／棟
飼料搬送機	フレキシブルコンベア	6台	タンク2台連結
自動給水器	4列／棟	6棟	
餌付け皿	丸型	480個	6個／1,000羽
飲水器	6.5リットル	480個	6個／1,000羽
ガスブルーダー		80個	1個／1,000羽
動力噴霧器		1台	
細霧装置		6組	一式／棟
換気扇	1200シャッター付き	80台	1台／1000羽
空調自立盤	制御盤	6面	
発電機	100kw	1台	
ショベルローダー	0.5㎡	1台	
トラック	2tダンプ	1台	

4-1. 技術体系

常時羽数 80,000 羽

1) 飼養フローチャート



4-2. 技術体系

作業の種類	技術項目	技術上の重点事項
導入品種	1、素ひなの導入 2、品 種	(1)衛生管理の徹底しているふ化場の選定 (2)鶏舎毎に導入 (1)ブロイラー専用種
飼育密度	1、適正な飼育密度	(1)夏季3.3㎡当たり50羽 (2)冬及びその他の季節 3.3㎡当たり55羽 (3)年間平均3.3㎡当たり52.5羽 素ひなの銘柄、気象条件、出荷体重により決定する。
飼料給与	1、餌付～11日齢 2、11日齢～24日齢 3、25日齢～39日齢 4、40日齢～出荷	(1)配合飼料(スターター) (2)飼料成分 CP 23% ME 2, 957kcal/kg (3)不断給餌 (4)給与法 ガスフロッダー1個に1,000羽 ①餌付～3日齢 1,000羽当たり給餌箱 6個 給水器 6個 餌付け紙前面 ②4日齢～10日齢 自動給餌器、給水器と併用 自動給餌器は60羽に1個 自動給水器は100羽に1個 (1)配合飼料 (2)不断給餌 (3)飼料成分 CP 21.5% ME 3,050kcal/kg (4)給与法 自動給餌、給水 (1)配合飼料 (2)不断給餌 (3)飼料成分 CP 19.5% ME 3,100kcal/kg (4)給与法 自動給餌、給水 (1)配合飼料 (2)不断給餌 (3)飼料成分 CP 18% ME 3,125kcal/kg (4)給与法 自動給餌、給水

4-2. 技術体系

作業の種類	技術項目	技術上の重点事項			
一般管理	1、給温	(1) 傘型育すう器（傘型ブリーダー） 1基 1,000羽			
		(2) 餌付け後1～2週間はとくに夜間の温度に注意			
		(3) ひなの状態で多少温度を加減する。			
		(4) 給温期間 夏季 1週間 冬季 2～3週間			
		(5) ステージ別の温湿度			
		温度(°C)		湿度(%)	
		週 令	育雛器内	室内	
		えつけ～3日令	32	28	70～80%
		4～7日令	27	26	60～80
		2週間	25	24	
3週間	23	20	40～65		
4週間	21	18			
一般管理	2、換気	(1) カーテンで調節（自動カーテン、インバーター換気扇）			
	3、照明	(1) 24時間照明もよいが、省エネ面から間欠照明を推奨 LEDの色調変更（3週齢まで青色、4週齢～水色）			
	4、防暑対策	(1) 寒冷紗の設置 (2) 西陽の遮光 (3) 屋根の断熱 (4) 冷気の送風			
	5、除糞と入すう準備	敷料はチップ、ノクス、モミガラを準備			
	衛生管理	1、入雛時の消毒（鶏舎内部、育雛器具）	(1) オールアウト後の鶏糞・残餌の完全除去 水洗（水量20L/3.3㎡で加圧水洗浄） (2) 第1回消毒：洗浄消毒（逆性石けん等）・乾燥 (3) 第2回消毒：主に床面消毒（ゾール剤）・乾燥 (4) 第3回消毒：鶏舎内消毒（逆石けん、ハロゲン剤など）・乾燥 (5) 第4回消毒：鶏舎内及び鶏舎周囲の石灰散布 (6) 器具機材の水洗消毒		

4-2. 技術体系

作業の種類	技術項目	技術上の重点事項															
衛生管理	<p>2、日常の衛生管理</p> <p>3、各種ワクチネーション</p>	<p>(1) 鶏舎ごと専用長靴、作業衣使用</p> <p>(2) 死亡鶏の搬出、異常鶏の淘汰</p> <p>(3) ネズミ、ハエ等の駆除</p> <p>(4) 野鳥等の野生動物の鶏舎、飼料保管庫、堆肥舎、死体保管庫等への侵入防止</p> <p>ワクチンプログラム(例)</p> <table border="1" data-bbox="686 571 1173 806"> <tr> <td>0</td> <td>7-10</td> <td>14</td> <td>21</td> <td>28日齢</td> </tr> <tr> <td>MD</td> <td>IB</td> <td>ND</td> <td>IBD</td> <td>ND</td> </tr> <tr> <td>FP,IB</td> <td></td> <td>IBD</td> <td></td> <td>IB</td> </tr> </table> <p>略字注釈</p> <p>MD: マレック病 FP: 鶏痘</p> <p>IB: 伝染性気管支炎 ND: ニューカッスル病</p> <p>IBD: 伝染性ファブリキウス嚢病</p>	0	7-10	14	21	28日齢	MD	IB	ND	IBD	ND	FP,IB		IBD		IB
0	7-10	14	21	28日齢													
MD	IB	ND	IBD	ND													
FP,IB		IBD		IB													
環境及び食の安全安心対策	<p>1、鶏舎環境の整備</p> <p>2、ふんの適正利用促進</p> <p>3、安全安心のための管理</p>	<p>(1) 鶏舎周辺的环境整備と美化</p> <p>(2) 鶏舎の清潔(飲水の漏水防止)、乾燥、換気</p> <p>(3) 鶏舎の定期消毒</p> <p>(1) ふんの適正処理</p> <p>(2) 畜舎、堆肥舎等からのふん流出防止の徹底</p> <p>(3) 「農業環境規範(家畜の飼養・生産)」での確認、記帳</p> <p>(1) 管理、記帳の徹底</p> <p>(2) 農業環境規範(家畜の飼養・生産)の確認、記帳</p> <p>(3) 飼養衛生管理基準の徹底</p> <p>(4) 飼料添加剤、医薬品等の適正管理</p> <p>(5) アニマルウェルフェアの考え方に基づく飼養管理</p>															

5. 作業別・月別労働時間

プロイラー專業經營／月	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
	飼料給与・給水	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0		5.0	5.0
初生雞管理	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
衛生管理	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
除糞	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
清掃・消毒	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
入雞準備	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
經營管理	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
その他	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
計	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	
旬計	154	154	169	154	154	123	154	154	169	154	154	154	154	169	154	154	169	154	154	154	169	154	154	154	154	169	5,621
月計	477	431.2		477.4		462		477.4		462		477		477.4		462		477.4		462		477		477		5,621	

6. 總労働時間

總労働時間	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
	うち家族労働	104	104	119	104	104	73.2	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104		104	104
うち雇用労働	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	1,800